

特別展

昭和の目撃者

林忠彦 VS 土門拳

林忠彦生誕100年

2018/4/19 [木] ~ 7/17 [火]

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会期中
無休

同時
開催

没後50年

藤田嗣治 日本での日々



林忠彦「太宰治」1946年



土門拳「梅原龍三郎」1941年

イベント

4月28日(土)午後3時～ …… ギャラリートーク 藤森武 × 堤勝雄
「弟子が語る土門拳 撮影道具編」

4月29日(日)午前10時～ …… 拳ちゃんこどもまつり

5月27日(日)午後2時～ …… 特別展対談イベント 林義勝 × 藤森武

6月30日(土)・7月7日(土) あじさい呈茶

7月 7日(土)午後7時～ …… ミュージウムコンサート
「IRI special セタ LIVE」

特別展
入館料

一般800円(650円)
高校・大学生400円(300円)
中学生以下無料

※()内は団体料金(20名以上)

会員券(1年間有効): 2,160円
随時受付・特典あり

Ken Domon Museum of Photography

土門拳記念館

山形県酒田市飯森山2丁目13(飯森山公園内)

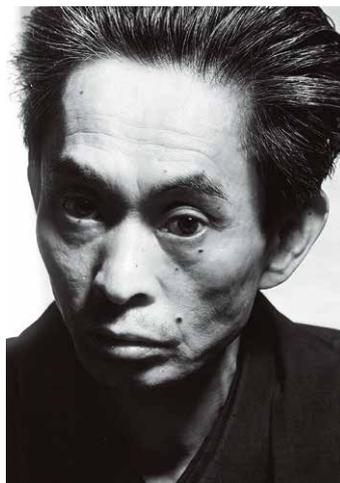
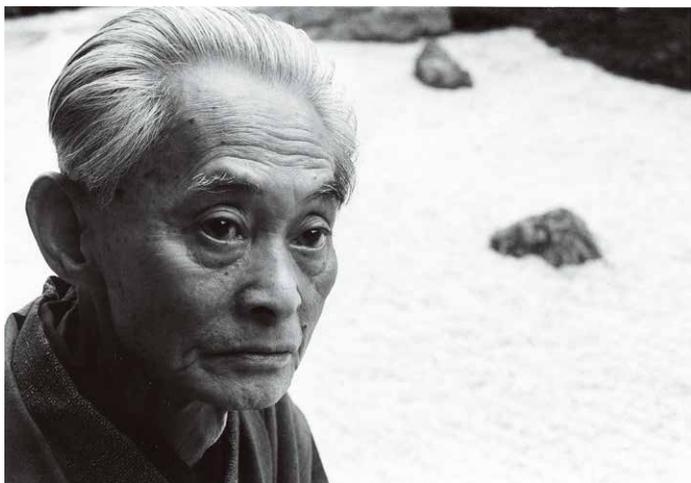
TEL/FAX 0234-31-0028

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>



特別展

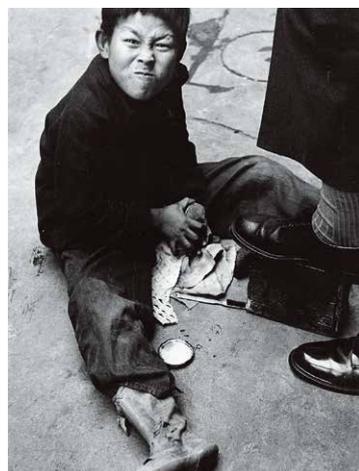
昭和の目撃者 林忠彦 VS 土門拳



ともに戦前に報道写真家として出発した林忠彦(1918-1990)と土門拳(1909-1990)。戦後は多くの雑誌に連載をもち、人々の記憶に留まる不朽の名作を数多く残しました。本展は、戦時体制下、そして敗戦の混乱期から力強く立ち上がっていく日本人の姿を活写した二人の写真家の足跡を“対決”風に辿ります。「昭和の歩み」と「昭和を代表する顔」、各々の個性が溢れる「風景写真」。代表作とともに同じ被写体をどう捉えたか、その違いにもご注目ください。



特別協力: 林義勝
(林忠彦作品研究室代表)
出品協力: 周南市美術博物館
企画協力: 株式会社クレヴィス



| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | | |
| 3 | 4 | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1. 林忠彦「川端康成」1970年
2. 土門拳「川端康成」1951年
3. 林忠彦「東海道 杉並木 箱根」1990年
4. 土門拳「室生寺五重塔遠望」1964年頃
5. 林忠彦「美空ひばり」1952年
6. 土門拳「山口淑子」1952年
7. 林忠彦「煙草をくゆらす戦災孤児」1946年
8. 土門拳「銀座のシューシャンボーイ」1952年

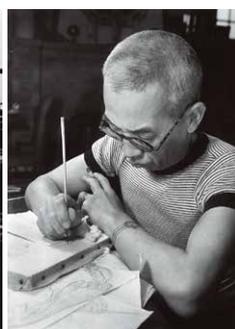
同時開催

没後50年 藤田嗣治 日本での日々

パリの寵児として名を馳せた藤田嗣治(1886-1968)は1933年に帰国。一方、日本工房退社後、「国際文化振興会」の嘱託となっていた土門は、1941年、美術雑誌の仕事で藤田のアトリエを訪れました。秘密主義の画家としても有名であった藤田は土門には撮影を許し、自然な姿を見せています。土門は藤田の制作の様子に迫り、その制作手順は「画論」上で紹介されることとなりました。この時は藤田の代名詞である乳白色の秘密は解明できなかったものの、後に大きな発見をもたらす一枚を撮影することとなったのです。



1948年頃



1941年

土門拳記念館展示情報 2018

2018年4月19日(木)～7月17日(火) 会期中無休

主要展示室

企画展示室 I

| 特 | 別 | 展 |

昭和の目撃者 林忠彦 vs 土門拳

— 林忠彦 生誕 100 年 —

カラー 34 点・モノクロ 130 点

ともに戦前に報道写真家として出発した林忠彦（1918-1990）と土門拳（1909-1990）。戦後は多くの雑誌に連載をもち、人々の記憶に留まる不朽の名作を数多く残しました。

本展は、戦時体制下、そして敗戦の混乱期から力強く立ち上がっていく日本人の姿を活写した二人の写真家の足跡を“対決、風に辿ります。「昭和の歩み」と「昭和を代表する顔」、各々の個性が溢れる「風景写真」。代表作とともに同じ被写体をどう捉えたか、その違いにもご注目ください。

没後 50 年 藤田嗣治 日本での日々

モノクロ 23 点

パリの寵児として名を馳せた藤田嗣治（1886-1968）は 1933 年に帰国。一方、日本工房退社後、「国際文化振興会」の嘱託となっていた土門は、1941 年、美術雑誌の仕事で藤田のアトリエを訪れました。秘密主義の画家としても有名であった藤田は土門には撮影を許し、自然な姿を見せています。土門は藤田の制作の様子に迫り、その制作手順は『画論』上で紹介されることとなりました。この時は藤田の代名詞である乳白色の秘密は解明できなかったものの、後に大きな発見をもたらす一枚を撮影することとなったのです。

イ ベ ン ト

- 4/28 (土) 15:00～ ギャラリートーク 藤森武×堤勝雄「弟子が語る土門拳～撮影道具編～」
- 4/29 (日) 10:00～ 第 35 回拳ちゃんこどもまつり
- 5/27 (日) 14:00～ 特別展対談イベント 林義勝×藤森武
- 6/30 (土)・7/7 (土) あじさい呈茶
- 7/7 (土) 19:00～ ミュージアムコンサート「IRI special 七夕 LIVE」

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目 13 番地（飯森山公園内）

TEL/FAX : 0 2 3 4 - 3 1 - 0 0 2 8 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>